

大学院の評価・修了認定 (博士後期課程)

1) 成績評価及び単位の認定

(1) 成績評価

成績の評価は、定期試験、平常試験、レポート、制作物、実技、出席状況などを総合して行います。成績の評価の基準は次の通りです。成績通知書、成績証明書の評価欄には、A・B・C・Dで記載します。

評 点	評 価
80点以上	A
70点以上80点未満	B
60点以上70点未満	C
60点未満	D

そのほか、点数で表現できない成績として「合格」あるいは「認定」で表示することがあります。

(2) 単位の認定

A、B、C及び合格、認定の場合には、単位の取得が認められます。Dの場合には、単位の取得が認められません。

「追試験の対象とは認められない理由」による定期試験の欠席により、成績評価資料を欠く場合には、履修を放棄したとみなしますので、単位の取得は認められません。

(3) 博士前期課程の専攻専門科目の履修

博士前期課程において未履修の自由科目を履修してもよいが、修了要件の単位としては認めません。

2) 修了要件

本学の大学院博士後期課程を修了するためには、次の条件をすべて満たさなければなりません。

- ① 3年以上在学すること。
- ② 演習6単位以上、各専攻の課題研究10単位を含め、合計16単位以上修得すること。
- ③ 論文指導を受けた上で、博士論文を提出し、本学大学院が行う審査及び最終試験に合格すること。

ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績を挙げた学生については、2年以上在学すれば足りるものとします。

各専攻の修了要件については、それぞれのカリキュラム表によります。